

【解答例】

I

- (1)(2)06 [足利義政] (3)(4)52 [ディアナ] (5)(6)19 [榎本武揚]
(7)(8)41 [占守] (9)(10)59 [ニコラエフスク] (11)(12)36 [先島諸島]
(13)(14)32 [児玉源太郎] (15)(16)73 [矢内原忠雄] (17)(18)01 [L. ジョンソン]
(19)(20)14 [仁川] (21)(22)65 [旅順] (23)(24)75 [万朝報]
(25)(26)60 [日仏協約] (27)(28)40 [上海] (29)(30)23 [カイロ]
(31)(32)10 [李承晩] (33)(34)49 [知里幸恵] (35)(36)05
(37)(38)55 [天津条約] (39)(40)02

II

- (41)(42)05 (43)(44)05 (45)(46)01 (47)(48)04 (49)(50)02
(51)(52)03 (53)(54)04 (55)(56)05 (57)(58)01 (59)(60)04
(61)(62)04 (63)(64)04 (65)(66)01 (67)(68)04 (69)(70)04
(71)(72)05 (73)(74)05 (75)(76)02 (77)(78)05 (79)(80)03

III

仏教が儒教や道教よりも優位であると考えた空海は、唐からの帰国後に金剛峰寺を建て、大日如来を中心仏とする秘密の教えである密教を特徴とする真言宗を開いた。真言宗は加持祈禱による鎮護国家の役割や、それに頼って幸福を追求しようとする現世利益の面から、最澄が開いた天台宗とともに貴族からの支持を集め、空海が嵯峨天皇から下賜された平安京の東寺が教王護国寺として密教の根本道場となるなど、朝廷との結びつきを強めた。

(200 字)

IV

金安・銀高という金銀相場の状態が続く中、上方からの商品に依存していた江戸において諸物価が上昇する一方、新田開発などによる米の増産を背景に、米の供給量が増大して米価が下落していた。そのため、幕府から支給される蔵米を売ることによって生計を立てていた旗本・御家人の生活は窮乏していった。そこで幕府は貨幣改鋳を行って、以前の金銀よりも品位を引き下げた元文金銀を大量に発行し、通貨の価値を引き下げて米価を相対的に引き上げようとした。また、銀貨の品位を金貨の品位よりも大幅に引き下げることで金銀相場を金高・銀安の状態にし、上方から江戸に流入する諸商品の価格を引き下げようとした。

(280 字)